町報
1995
9月
No.294

こうふ

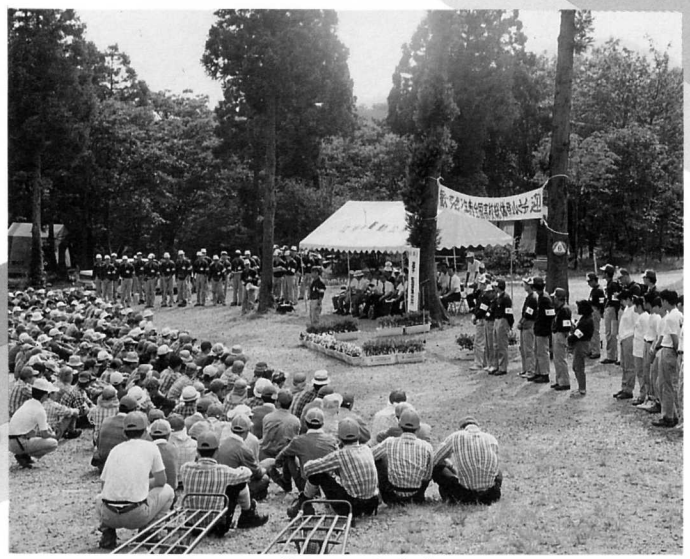
■高校総体……P 2
■江尾十七夜……P 4
■根雨高選手にインタビュー…P 6
■町のわだい……P 8
■教育コーナー……P 10
■お知らせ……P 14
■ヤング・人の動き……P 16

ぼくが捕まえた魚みて!!

（マスつかみどり・親水公園）

▲非常食、装備品などの点検審査が始まる

▲花々のプランターが道を飾るなかを入山式に向う選手たち
（鏡ヶ成キャンプ場）



▲選手・役員 総勢300人が集まった入山式

▲全国から集まった選手たちは、これから始まる競技について、審査員からの注意事項に真剣に聞き入る
（鏡ヶ成キャンプ場・入山式）

八月五日から九日までの五日間、高校総体登山競技が四六都道府県から一〇六校（一一一チーム）が参加し、大山、烏ヶ山を中心に、行われました。

初日の五日は、大山町（総合体育館）で開会式が行われたあと、競技コースごとにそれぞれのキャンプ場に移動しました。本町、鏡ヶ成キャンプ場では、Aコース隊（男子団体）の四六チームが午後三時に到着。

ベゴニア、マリーゴールド、サルビアが咲き薫るプランターが道沿いにずらりと並び、選手たちを出迎えたあと、入山式が行われました。

式では、福田町長が「ようこそ、大自然豊かな江府町においでいただきました。この大山で、たくさんの思い出をつくってください。ご健闘を祈ります」と歓迎の挨拶。

その後、審査員から注意事項や今後の登山コースについての説明があったあと、各チームごとの幕営地へ。テントを設営する前に、審査員が各チームの登山装備品が正確にあるか、どうかをチェック。

全国高校総体登山大会

降り注ぐ木漏れ日のなか、真夏の大山を踏破した若人たち

全国から一一一チームが参加

―ベゴニアなどの花々が出迎え―

▲閉会式は大山町の総合体育館で行われた

▲ブナ林のなかを理路整然と進む各チーム（鍵掛峠）

非常食、ヘッドランプの電池の有無など詳細にわたって。

このように登山競技は装備をはじめとする生活技術（25点）、安全確実な歩行などの行動（40点）、登山計画などの知識（30点）、そして、マナーなどの態度（5点）の計一〇〇点として審査が行われました。

チームリーダーなどの統率力、チームワークそして、事細かな登山記録まで、審査員が同行しながら競技は行われました。

好天に恵まれた五日間の競技日程は無事故で終了。八月九日、閉会式（大山町）が行われました。

選手たちは、大山の大自然を心から満喫。笑顔の花が咲き乱れていました。

県チームの成績

A隊（男子団体）
第一位　鳥取東高

B隊（女子団隊）
第五位　鳥取西高

C隊（種目男子縦走）
第七位　米子工業高

▲江美城太鼓の歌い手も段々と調子が上がってくる

▲慎重にはりをはずす（船谷川）

▲魚より人の数が多いかも（親水公園）

七夜フォト

▲裏方の交通指導員さんご苦労様（本四）

▲一番一番の相撲に大きな声援が巻き起こる（江美神社）

▲奥大山の自然を守るしみず屋（役場・環境整備課）

親子作品展（本町四丁目）

花咲爺さん（新町一丁目）

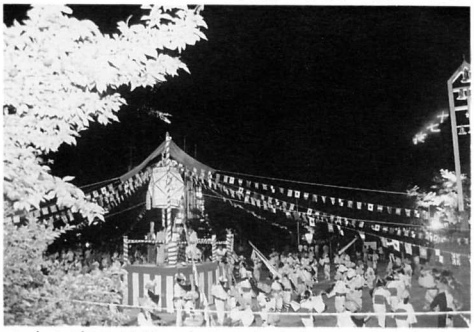
新一子供会作品展

アポロ13号・奇跡の生還（新町二丁目）

▲十七夜初お目見えの女性の伯耆天神ばやし

▲ドンドンと響き渡る太鼓の音（上之段広場）

▲おばさんの踊りをよ～みて踊ってよ（上之段広場）


▲十七夜の見物、火文字も今年はつきました

江尾十

▲奥大山スキー場（本町二丁目）

▲熱唱の続くカラオケ大会（江尾駅前）

▲仁輪加が本町通りをねり歩く

▲子供作品展（本町一丁目）

潜伏中の某教祖（本町一丁目）

こぶとりじいさん（本町三丁目）

こだいぢ踊り（本町四丁目）

根雨高校のパワー全開

感動！興奮！そして燃焼

江府町出身選手大活躍

この夏、暑さもさることながら、大いに湧いた大会がありました。夏の甲子園を目指しての県大会で、郡内唯一の出場校・根雨高校の活躍に注目が集まりました。〝劇的逆転勝利〟などの見出しが一般紙を飾り、ミラクル根雨と呼ばれました。

その根雨高校野球部に江府町出身の篠田久選手（二年・小江尾）と森田祐基選手（一年・貝田）がこの大会重要なポイントで大活躍。篠田選手、頭本監督に今大会のことなどについてインタビューしました。

―まず、最初に準々決勝で対八頭高戦九回裏七―五とリードされて、篠田選手のホームランで逆転勝利を得たわけですが…。

まさか、ホームランになるとは思いませんでした。とにかく、いい球を思い切り振ろうと思っていました。手ごたえ十分で、二塁打になったのではと全力で走りました。二塁の審判がぐるぐると手を回していたので、「ホームランだ」と心のなかで叫びました。

―見ていた私たちもあのホームランで胸がスカッとしました。

次に、準決勝の対倉吉北高戦、ツーアウトで代打小谷選手がバッターボックスに立ったあの絶体絶命のピンチの時のベンチの雰囲気は？

小谷選手は必ずやってくれると思っていたことと最後まで絶対にあきらめないようにという一点で全員の心はひとつになっていました。

―そして、これまた、ホームランで同点となり、その勢いで決勝戦に駒を進めたわけですが、今振り返って、今大会の一番の思い出は？

初戦の鳥取商高戦です。全員固くなって、何度もピンチがありました。

そのたびに自分（キャッチャー）はピッチャーを盛り上げることに努め、そして、ピンチを切りぬけることができたことです。

一球一球に全力で集中

―そんなピンチを切り抜け、そして、チャンスをつくり出したわけですが、打席に立って常に心掛けている点は？

とにかく、思い切り振ることです。不思議なことにバットの真芯に当たった時は、手には何の衝撃もなく、スカーとした気分です。

そのために、練習から一球一球に全力で集中することを心掛けています。

―ところで、野球を始めたキッカケは？

身体の弱かったお兄さんが身体を丈夫にするために野球をやっていて、ぼくも、自然に始めました。小学校二年生からキャッチボールをして、小学校五年生から江府少年野球クラブに入り、本格的に野球をやるようになりました。

―今、話に出た少年野球チーム（今はチロルジュニア江府）も頑張っていますが、アドバイスがあったらひとこと。

勝敗よりも野球を楽しんでください。そして、くいのな

▲身長172センチ、体重65キロ、根雨高校の主力打者、守備ではキャッチャーとしてチームをリードする篠田選手

いように。

—さあ、最後に今後の抱負は？

高校野球をやっている者なら、一回は行ってみたい所、最高の舞台・甲子園です。

根雨高校の対戦成績

▽二回戦

鳥取商	0000000000	0
根雨	1000000002×	3

▽準々決勝

八頭	0300001210	7
根雨	2000001023×	8

九回裏二点リードされた根雨高は、石田、西村両選手の連続安打などで一死、一・三塁の好機に五番篠田選手がバッターボックスへ。二球目のストレートをフルスイング、左中間のスタンドに入る逆転ホームランで三点をあげ、準決勝に進んだ。

▽準決勝（延長十二回）

倉吉北	0010100000010	3
根雨	0000200000011×	4

延長十一回表、倉吉北高が本塁打で一点をあげた裏、二死走者なし。ここで、代打の小谷選手がバッターボックスへ。そして、初球の高めのカーブをここぞとばかりフルスイングし、ホームラン。一挙に三—三の同点とし、流れを変えて決勝戦に進む。

▽決勝

倉吉東	0010011102	5
根雨	0000000010	1

頭本監督に聞く

野球を通じて人間づくり

—すごい試合の連続だったと思いますが、根雨高野球の特色は何でしょうか？

こつこつと努力することだと思います。野球好きな生徒が集まって、地道に努力してきた結果が今回の成績に結びついたというのが実感です。

—今、野球部員は何人ですか。

三年生が六人、二年生が六人、一年生が六人の合計一八人です。それに、マネージャーが四人の総勢二二人です。

—決して、大きなチームとは言えませんが、普段の練習で気を付けていることは何ですか？

野球だけではなく、高校生活すべてに努力することです。

—今回の大会では〝ミラクル根雨〟と言われましたが、そのことについては…。

なかなか普段の力を十分に出しきることも正直言って、むずかしいことだと思います。

ミラクル、ミラクルと言われましたが、普段以上の力を出すにも日々の努力があったればこそだと私は思っています。

—特に、倉吉北高戦で代打の小谷選手を起用されましたが。

小谷選手はバッターとしては最高のバッターです。春の大会ではクリンナップを打っていました。あの絶体絶命のピンチを本人は自分の力をぶつけるチャンスだと受けとめていたことが、あのような場面を切り開いたのだと思います。

—次に江府町出身の選手についてひとこと。

篠田選手は思い切りとパンチ力があり、春の布勢野球場（鳥取市）で行われた大会でも場外ホームラン（一二〇メートル）を打っています。我がチームの主砲バッターです。

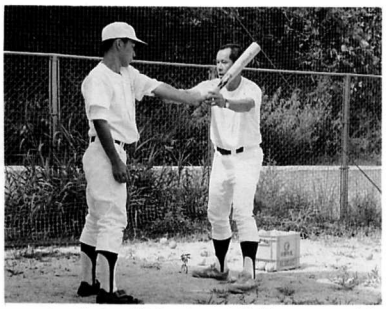
また、一年生の森田祐基選手は、今大会でもクリンナップの選手がバントを失敗し瓜をケガしたため、代打で出場、バントを見事に成功され、勝利の道を築き上げました。その度胸のよさは目をみはるものがあります。

—監督から最後にひとこと。

結論から言えば、選手本人もご家族も野球をやってよかったと実感してもらいたいことです。

つまり、野球を通じて人間づくりができればと思っています。今年のチームは、ずいぶんすきがあったと思いますが、これからは、決して、おごらず、謙虚に、そして常にチャレンジ精神で努力したいと思います。

—練習でお忙しい所、ありがとうございました。



▲一人ひとりの選手に細かく指導にあたる監督

野坂官房長官が来町

町長・議長と町政について懇談

▲町長・議長と懇談する野坂長官（町長室）

八月十八日、午後、新内閣の野坂官房長官が町役場を訪問されました。

席上、野坂長官は、「縁の深い江府町は、私の第二のふるさとです」と江尾小学校で教鞭をとっていたころを懐しむように、当時のころの話題に花が咲いていました。

町長室では、福田町長、森田議長をはじめ各課長が同席し、今後の町政について、じっくりと懇談が行われました。

帰町の折、今後のご活躍を祈って、官房長官に花束が手渡されました。

中電倉吉電力所から

あじさいなど花木が寄贈

▲宇津木所長から花木の目録が手渡された（町長室）

八月十一日、中国電力倉吉電力所長をはじめ関係者が来町し、俣野川発電所入口周辺の植栽事業にと花木を寄贈されました。

これは、自然との調和を図り、環境問題に関心を高めることを目的に行っているもので、あじさいなどの花木六三五本の目録が宇津木所長から福田町長に手渡されました。

関西大学「うぷ」児童文化実践サークル

手づくりの人形劇など行う

明倫小学校

八月六日～八日の三日間、明倫小学校に関西大学同好会児童文化実践サークル「うぷ」が訪問し、子供たちと楽しいひとときを過ごしました。

このグループは、人形劇や紙芝居を通して、子供たちと交流を行うことを目的に、各地で公演を行っているものです。

メンバーたちは、手づくりの劇、ゲームそして歌など、ユニークな手法で子供たちの心をキャッチしながら、子供たちと夏のひとときを満喫しているようでした。

▲明倫小の児童たちと楽しくゲームをする関西大学「うぷ」の皆さん（明倫小学校・体育館）

平和を愛する高校生の夕べの集い

自衛隊に君のパワーを

―カ―

▲「へ～え、こんなこともするだ自衛隊は」と感心する高校生。

八月十日午後七時から山村開発センターで、「平和を愛する高校生の夕べの集い」が行われました。

これは、自衛隊のことをもっと知ってもらおうと企画されたものです。

はじめに、自衛隊米子募集事務所の田中所長から、自衛隊の役割や自衛官試験などについて話があったあと、自衛隊のビデオを鑑賞。「こんなことまで、自衛隊はするんですか」と感心していました。

全員でビンゴゲームをしたあと、場所を変えて、夕べの集いのクライマックスは野外で花火をして楽しみました。

▶熱心に話を聞く高校生

▲制服もりりしい女性自衛官の永見さん

恒例・森の音楽祭

夏の一夜 名曲に酔いしれる

八月十一日、すっかり夏の恒例行事となった森の音楽祭が江尾小学校米原分校で行われました。

今年は、京都トロンボーングループのほか、町のアイリス合唱団、江府中の生徒も参加。

多くの参加者は、夏の一夜を名曲のしらべに酔いしれていました。

また、この模様はNHKでも紹介されました。

▲トランペットの音が会場に響き渡る（米原分校）

わだいのひろば

小さな小学校に大きな栄冠

鳥取県小学校水泳競技日野郡大会
男子200mリレー・メドレーリレー 優勝 俣野小学校

◀右から藤原君、下原君、加藤君、中尾君

七月二十七日、根雨小学校プールで鳥取県小学校水泳競技日野郡大会が開催されました。

その大会の男子二〇〇mリレー、二〇〇mメドレーリレーの二つのリレーにおいて俣野小学校が優勝しました。

俣野小学校は、現在児童数は二十二人、六年生の男子は四人、なんとかリレーに出られる人数しかいません。郡内では、こんな小さな小学校がこれまでに優勝した記録がなく、しかもリレーの二種目とも制覇するということはありませんでした。

俣野小学校の選手のみなさんに一言ずつ日野郡大会の感想を聞きました。

加藤義和君
『人数が少ないのによく優勝できたなと思った。』

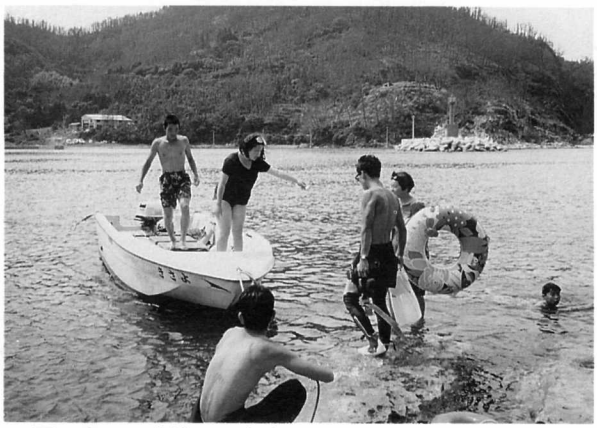
下原佑太君
『自分たちはこんなに速いとは思わなかった。』

中尾広大君
『みんなと県体に行けることが嬉しかった。』

藤原佑介君
『優勝できるなんて思ってなかったので嬉しかった。』

「冬には、来てね」

西ノ島町・江府町高校生交流会



▲西ノ島での交流のようす

八月十九・二十日の二日間西ノ島町・江府町高校生交流会が、島根県隠岐郡西ノ島町で行われました。

この交流会は、小学生、テニスなど毎年活発に行われている交流会を高校生の間でも行い、姉妹町である西ノ島町と江府町の活性化に高校生レベルから参加したいと考え行われています。

今年で、四回目になったこの交流会も、毎年参加者が違うため新鮮でまた、両町の高校生とも小学生の時に交流しているため非常にリラックスした交流会でした。

B&G海洋センターでの、『ヨット、ボート、ジェットスキー』での研修や、浜辺で自分達で取ったサザエで作った『サザエめし』など西ノ島ならではの経験をしました。『冬には、スキー交流でぜひ江府町に来てくださいね』と、江府町の高校生。

『できれば行きたいですね』と、西ノ島町の高校生。

すこしづつ交流の輪が拡がった今回の西ノ島町・江府町高校生交流会でした。

全中へ!!

第二十六回全国中学校ソフトテニス選手権大会

▲福田町長の激励を受ける各務君（中）と大谷君（右）

第二十六回全国中学校ソフトテニス選手権大会が八月二十三日（水）千葉県の白子町で開催されました。

中国地区代表として本町から江府中学校三年生、各務伸二君と大谷英君が出場しました。

結果は一回戦は、岩手県代表と対戦し勝ちましたが、二回戦は埼玉県代表と対戦し惜しくも敗れました。

優勝は貝田!!（三年連続四回目）

第十二回江府町壮年野球大会

▲優勝の貝田チーム

第十二回江府町壮年野球大会が八月十九日（土）から二十四日（木）まで町運動公園グランドで開催されました。

今大会には十チームの参加があり、今年の夏の暑さよりも熱い戦いがくりひろげられました。決勝戦の結果は次のとおりです。

また、ホームラン賞としてメダルが山陰中央新報社より贈られました。

決勝戦

俣野　中尾幹―岡本　俣野〇〇〇〇〇〇〇―〇

貝田　森田広―谷田哲　貝田〇〇〇五〇一×―六

本塁打　谷田和（貝田）

ホームラン賞

新道　生田義夫(2)宇田川寛良

三輪英男

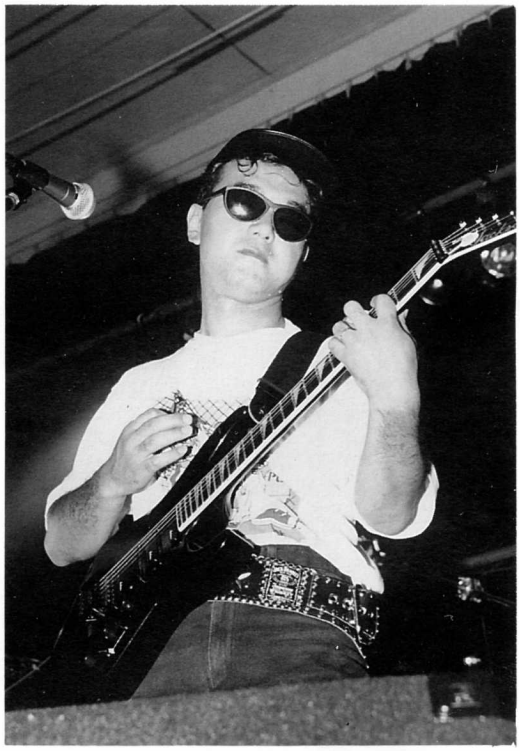
新町一・二　川端孝志

下蚊屋　小椋喜美

貝田　森田広実・谷田和男

Live in YonezaWa!!

「米沢倶楽部」主催



▶プロみたいですね

米沢地区を中心に活動している『米沢倶楽部』が、七月二十九日（土）米沢小学校体育館でロックコンサートを行いました。

体育館いっぱいに広がる大音響と、きらびやかな照明でプロの機材に負けないくらいの設備に、集まった若い年齢層の観客はびっくり、またこのコンサートに出演したバンドのメンバーは、「こんなに整った機材で演奏できることはなかなかありません。大変嬉しいです。」と、始まる前から興奮気味に答えてくれました。

このロックコンサートは今年で二回目、昨年は敬老の日に、『水戸黄門』を中心とした演劇を行いました。

これからも若い年齢層と、高年齢層をターゲットにしたイベントを交互に毎年行っていきたいと『米沢倶楽部』のメンバーはロックコンサートのビートに乗りながら、来年のイベントの構想を練っていました。

◀ライトがきれいです

る私を求めて

水資源改善活動

前回は森林が水源涵養（かんよう）に大きなはたらきをしていることにふれました。

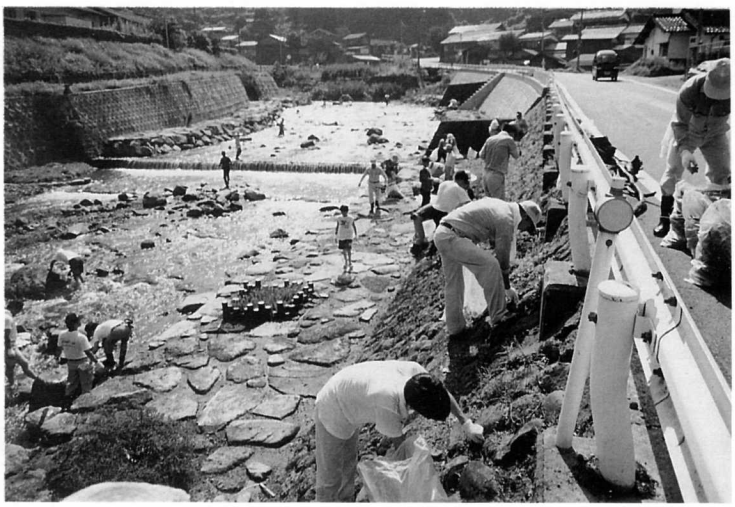
幸い、私達の町は多くの緑に囲まれ、きれいで、おいしい水を存分に使うことができます。

しかし、都会をはじめ河川の下流地域で水源の確保が深刻な問題となっている所が数多くあります。

富士山からの豊富な湧水があり、古くから「水の都」とよばれていた三島市では、かつては湧水による川が市内を流れ、水辺は憩いや語らいの場として市民の生活に安らぎを与えていました。

この美しい水辺の環境も昭和三十五年頃から上流での地下水の汲み上げや涵養域の減少によって悪化しはじめ、湧水はへり、川水の減少によって逆に家庭からの雑排水の混入やゴミの投棄が増えてきたといいます。

自慢にしていた三島の湧水もこのままだとなくなり、潤いのない街になってしまうとの市民の思いから「三島ゆうすい会」を設立して湧水を見直し、守り、育てることを目的に、水についての情報収集から自然環境問題について学ぶ勉強会や地下水涵養の推進、水を生かしたまちづくり構想の提案などさまざまな活動を進めてきました。この様な地域参加の地道な取り組みで次第に昔の姿をとり戻しつつあるといいます。



▲きれいな船谷川になりました。

快適な生活が送れることはだれもが願うことです。水資源に限らず省資源、環境美化など身近な問題を一人ひとりが自分の課題として捉え、自分達のために学習して知識を得たり、知恵を出し合うことで住みよい地域の実現も可能になります。

江府町でも、水を大切にし、水に親しんでもらおうと、毎年、船谷川周辺の清掃活動を行って美化に努めています。

水辺の環境保全に関心をもち、実践の仲間が増え、この豊富な水資源を損うことなく、貴重な財産として、次代に引継ぐようにしたいものです。

生涯学習推進大会 文化講演会

◆一日目

○**日時**　平成七年十月二十八日（午後七時～八時半分）

●**会場**　山村開発センター

●**講師**　**土井利樹**　広島大学助教授

◆二日目

○**日時**　平成七年十月二十九日（午後一時～二時半分）

●**講師**　**マイク眞木**

＊**活動**　大学在学中に「バラが咲いた」でデビュー。

野外活動の経験が多く、アウトドアライフのアドバイザーや講演を手掛けている。（建設省主宰のオートキャンプ研究会顧問）

（マイク眞木氏）

〔日程・内容などは、来月号で詳細をお知らせします。〕

生涯学習基本テーマ

明日（あす）へ生き

星空の本は図書館へ

No.39 図書館だより

江府町立図書館

十五夜

朝夕めっきり凌（しの）ぎやすくなってまいりました。

すすきの穂が顔をのぞかせ山かげには萩が、薄桃色の花を付けています。たわわに実った稲穂の上を赤トンボが飛びはじめると季節はもう秋です。

「月々に月見る月は多けれど、月見る月はこの月の月」と詠まれる中秋の名月もこの季節です。

十五夜のまんまるい月を背景に、三方におだんごを供え、すすきの穂を飾ったシルエットは絵になる風景ですが、満月の明かりは、薄明かりのようでも、かなり細かい作業もできる光度があり、煌煌（こうこう）として人を狂気に誘い込むような気がしませんか？

満月の前後は、潮の干満の差の最も大きい時でもあり、俗に、人は満潮時に生まれ干潮時に死ぬとも言い伝えられ、何やら人の一生にもかかわりがあるようで一層神秘的に感じられるのかも知れません。

また、のんびりおだんごを食べながら、夜空に輝く月や星に思いをはせてみるのも一興。忙がしい昼間の喧騒を忘れてホッと一息。心を宇宙まで飛ばしてみましょう。

夜空の主役たちに関する資料が必要であれば、ぜひ図書館においで下さい。

日一日と長くなる秋の夜。それぞれに楽しんでいただくために、図書館がお手伝いいたします。

夏休みの間、小中学生が毎日図書館で勉強をしている姿は素晴らしいですね。

『ミニギャラリー』

九月から二カ月間、中国山地県鏡市町村連絡協議会が主催で実施した、エメラルドフォトコンテスト'94を展示いたします。

▲グランプリの「神楽」

新着図書

（エッセイ）

○花弁を光に透かして　高橋のぶ子
○続・そよ風ときにはつむじ風　池辺　良
○テーブルの雲　林　望
○恋をしまくれ　田嶋　陽子

（小説）

○ご臨終です　大林　智詳（ちしょう）
○家族の時代　清水　義範
○ホーム・スイート・ホーム　赤川　次郎
○特急「しなの21号」殺人事件　西村京太郎
○棟居（むねすえ）刑事の追跡　森村　誠一
○八月六日上々天気　長野まゆみ
○無印おまじない物語　群　ようこ
○薄荷草の恋　田辺　聖子
○月と星の夜　老海沢泰久
○記憶の隠れ家　小池真理子
○最高の恋人　岡田　惠和
○幻の朱い実　石井　桃子
○菊籬（きくまがき）　宮尾登美子
○天使の牙　大沢　在昌
○蓮如　五木　寛之
○人間の幸福　宮本　輝
○西行花伝　辻　邦生

（雑学）

○娘・麻里也とともにアトピーと闘って……秋川　リサ
○紳士の小道具　板坂　元
○ガラクタ道楽　林　丈二
○ニッポンうまラーメン200　毎日新聞社
○機長のかばん　石崎　秀夫
○ジャポニカゲーム　軍司　貞則
○鯨を捕る　須田慎太郎

INFORMATION

お知らせ

INFORMATION

お年寄りなどの住宅改良に助成

町では、介護を要する高齢者などの居宅環境を整備される方に、次の要件でお手伝いします。

■対象者

次の項目のいずれかに該当する世帯

①おおむね65歳以上の在宅の介護を要する老人のいる世帯

②身体障害者手帳「１・２級所持者」のいる世帯

③療育手帳「Ａ」所持者のいる世帯

■内容

既存住宅の浴室・トイレ・玄関居室など対象者の日常生活の利便を向上させる改良に限ります。（新築・増築は対象になりません）

■助成額

改良工事費の内　３分の２（ただし、助成対象経費は、100万円を限度とします）

■申込期限

平成７年10月31日㈫

■お問い合わせ先

役場・福祉保健課福祉係（☎７５－２２１１）

ＮＴＴ根雨支店は10月２日に閉店します

10月２日㈫をもちまして、ＮＴＴ根雨支店は閉店することになりました。

今後は、ＮＴＴ米子支店が今までの業務を行います。

いろいろなお問い合わせは次のところにしてください。

■電話の注文　局番なし１１６

■電話の故障　局番なし１１３

■電話料金については　0859（33）2146

秋の全国交通安全運動 ９月21日～９月30日

８月は過去10年間、県下最悪の交通事故が多発しました。

そこで、この機会に県民一人ひとりに交通安全意識を普及し、交通ルールを守り、交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ります。

●運動のスローガン

無理しない
用心深さも
年の功

●運動の重点

- 高齢者の交通事故防止
- シートベルト着用の徹底

９月21日 シートベルト着用推進の日
９月28日 高齢者交通安全強調の日

中小企業事業主のみなさんへ 職場のゆとりをバックアップ

―時短奨励金制度が変更―

中小企業労働時間短縮促進特別奨励金（時短奨励金）制度が次のとおり変更され、労働時間の短縮に取り組まれる事業主の皆さんにいっそう利用しやすくなりました。

■変更内容

①小規模事業場（労働者30人以下の事業場）における投資額に係る要件が300万円から150万円に緩和されました。

②大幅な労働時間短縮（週３時間以上）を行い、一挙に40時間労働制を達成した事業主については、事業場規模に応じて、支給額に25万円から75万円が上乗せ支給されることになりました。

■お問い合わせ先

労働時間短縮支援センター（全国労働基準関係団体連合会・鳥取県支部）

☎0857（24）4138

和田季子・山陰放送アナウンサー 色紙プレゼント・３人

江尾十七夜納涼カラオケ大会の司会者を務めていただいた山陰放送のアナウンサー・和田季子さんの色紙を３人の方にプレゼントします。ご希望の方は、次の所に葉書で申し込みください。

●申し込み先

江府町江尾４７５　江府町役場総務課（住所・氏名・ＴＥＬをご記入してください）

まもなく始まります

国勢調査・10月1日

―ご協力をお願いします―

10月1日から全国一斉に国勢調査が行われます。

この国勢調査は、日本に住んでいるすべての方を対象として行われる国の最も基本的な統計調査です。

この調査の結果は統計としてまとめられ、21世紀に向けた各種の計画や福祉対策、雇用対策、住宅対策、防災対策など各種の行政を行うための重要な基礎資料となります。

皆さんのご協力をお願いします。

無料
交通事故ご相談

●電話のご相談もお受けします
☎0857-24-4233(直通)
相談日：月曜から金曜午前9時半～12時
午後1時～4時40分(祝祭日を除く)
◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます
◎弁護士相談日：毎週水曜日午後1時～4時

社団法人 日本損害保険協会
鳥取自動車保険請求相談センター
鳥取市今町1-103　住友生命鳥取ビル3階　鳥取調査事務所内　☎0857-23-5161

あなたも 自衛官に チャレンジしては

募集種目	募集人員	試験資格	受付期間	試験期日	合格発表
防衛大学校学生(一般)	理工学専攻 約315人 人文社会科専攻 約 70人	高卒(見込) 21歳未満	9月18日 ～10月16日	1次 11月11日～12日 2次 12月12日～15日	1次 12月5日 最終 平成8年 2月14日
防衛医科大学校学生	約 65人	高卒(見込) 21歳未満	9月18日 ～10月16日	1次 11月4日～5日 2次 12月6日～8日	1次 11月28日 最終 平成8年 2月15日
看護学生	陸上 約105人	高卒(見込) 22歳未満 の女子	9月18日 ～10月20日	1次 10月31日 2次 11月25～28日	1次 11月10日 最終 平成8年 1月25日
自衛隊生徒	陸 約250人 海 約 60人 空 約 50人	中卒(見込) 17歳未満 の男子	11月1日～ 平成 8年1月4日	1次 平成8年1月6日 2次 平成8年1月25日 ～28日	1次 平成8年1月17日 最終 平成8年2月26日

■お問い合わせ先
自衛隊米子募集事務所　☎0859（33）2440

行事あれこれ 9月

日付	行事予定	日付	行事予定
9/11(月)	県町村会役員研修(11日・12日)	18(月)	
12(火)	消防委員会	19(火)	チロルの里多目的施設起工式
13(水)	高齢顕彰 西部町村会	20(水)	
14(木)	国勢調査説明会(9：30)	21(木)	秋の全国交通安全運動(21日～30日)
15(金)	敬老の日	22(金)	
16(土)		23(土)	秋分の日 魚崎町物産展
17(日)	明倫・俣野・江尾運動会	24(日)	

人の動き

8月届

● お誕生おめでとう

(住所)	(氏　名)	(性別)	(保護者)
池の内	加藤　敬三	男	誉　正
下安井	加藤　俊大	男	高　広
西　成	神庭　尚也	男	良　昌
美　用	下垣　亮道	男	学
西　成	妹尾　佳奈	女	秀　樹
佐　川	坂本　茉梨乃	女	環

● ご冥福を祈ります

(住所)	(氏　名)	(年齢)	(世帯主)
本　一	藤田　松男	69歳	本人
助　澤	川上　　清	88歳	良文
下蚊屋	梅田　菊治	64歳	明美

元気で～すヤング⑯

自然がいっぱいある所に行ってみたいですね

米沢小学校(育休代替事務)勤務　篠田弘美さん(22歳)

＊今の仕事の内容は？

今年の3月末から、事務の仕事をしています。まだまだわからないことがいっぱいあります。

＊行ってみたい所は？

一度、北海道の札幌に行ったことがあり、今度行くならもっと北の稚内。とにかく、自然がいっぱいある所。

＊好きな男性のタイプは？

活動的な人で、芸能人でいえば高橋克典さん。

＊好きな花は何ですか？

白い花が好きで、かすみそう。

＊将来の夢は？

今は、特にありませんが、もう少し大きな車に乗ってみたいですね。

＊町にのぞむことは？

遊ぶことのできる施設があったらいいと思います。

編集後記

▼数か月前の冷夏という気象予報をくつがえして、猛暑となった夏。この暑さのなか、町内外でイベント、大会が目白押し。

カメラを片手に、あちらの会場、こちらの会場に駆けずり回った。背後から照り付ける日差しは首すじをジリジリと焼き、カメラのひもの跡がくっきりと。まるで、ゼブラストライプ(しま馬のしま柄)のように。しま馬のように駆けめぐった夏も終り、今は秋。そのストライプも消えてしまったが、秋のイベントに向け自らの体にむちを入れて、「さあ―。突っ走るぞ―」と意気込みは十分?!。しかし、その広報魂も今はちょっぴり夏バテぎみか。▼秋の全国交通安全運動が始まる。それにしても、八月は交通事故が多発した。自分だけは事故なんか起こすわけはない。ちょっとぐらいスピードを出しても…。そんな甘えが事故を引き起こすような気がしてならない。この機会にもう一度、交通ルールのチェックをお互いに。

世帯数 1,259世帯(＋3)　人口 4,499人(－12)　男 2,137人(－9)　女 2,362人(－3)　(　)は前月比　7月末

発行・江府町役場
〒689－44 鳥取県日野郡江府町大字江尾475
☎0859(75)2211 FAX0859(75)2389
編集・総務課
印刷・富士印刷